

モニタリング結果報告書

施設 柳島青少年キャンプ場
指定管理者 (社)神奈川県青少年協会
施設所管課 県民部青少年課

(平成 21 年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月 8日	5月 19日	改善すべき業務等なし
5月	6月 10日	6月 15日	改善すべき業務等なし
6月	7月 10日	7月 17日	改善すべき業務等なし
7月	8月 10日	8月 19日	改善すべき業務等なし
8月	9月 10日	9月 18日	改善すべき業務等なし
9月	10月 9日	10月 19日	改善すべき業務等なし

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

< 提案内容の概要 >

キャンプ場で行う自主事業について、これまでは無料でやってきたが、利用者から材料費程度の実費を徴収した上で、魅力ある事業を展開する。

< 実施状況 >

4月 自主事業「ダッチオープン体験と藍染め」を実施 参加者数 57名

ダッチオープンを使った野外料理体験と藍染のエコバックの製作

8月 自主事業「こども あそび 体験キャンプ」を実施 参加者数 72名

夏休みを利用した、1泊2日の子供向けキャンプ体験イベント

9月 自主事業「ダッチオープン体験とクラフト」を実施 参加者数 10名

ダッチオープンを使った野外料理体験と木の枝を使ったオリジナルクラフトの製作

上記の取組みにより、気軽に野外活動を体験する機会を県民に提供することができた。また、参加者からは、野外活動の楽しさや参加者同士のふれあいについて評価をいただくとともに、施設を初めて利用する参加者に対する施設のPRにも繋がった。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	その他収入			
年間予算額	14,489	12,964	1,525	14,489	0
上半期計 (a)	8,201	7,405	796	6,324	1,876
下半期計 (b)					
4月	3,454	3,370	84	519	2,934
5月	0	0	0	610	△610
6月	12	0	12	1,730	△1,718
7月	4,035	4,035	0	818	3,217
8月	508	0	508	1,150	△642
9月	191	0	191	1,495	△1,303
合計 (a+b)	8,201	7,405	796	6,324	1,876

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

下半期における光熱水費の支出増等に備え、消耗品購入等の支出を抑制したため。

（今期に行った資本的な収入及び支出の状況）

特になし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	11,286 人	9,253 人	22.0%
下半期計 (b)	人	人	%
4月	746 人	425 人	75.5%
5月	1,607 人	1,328 人	21.0%
6月	1,288 人	957 人	34.6%
7月	2,827 人	2,292 人	23.3%
8月	3,524 人	2,845 人	23.9%
9月	1,294 人	1,406 人	△8.0%
合計 (a+b)	11,286 人	9,253 人	22.0%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

各種広報活動や雑誌等の掲載による施設の知名度の向上が、団体をはじめとする利用者数の増加へ繋がっていると思われる。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月						0
5月						0
6月						0
7月						0
8月					3	3
9月					1	1

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			0
5月			0
6月			0
7月			0
8月			0
9月			0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	特筆すべきものはなし	
職員対応	特筆すべきものはなし	
事業内容	特筆すべきものはなし	
その他	特筆すべきものはなし	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

特になし

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

今期は実施なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

<p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の維持管理、運営に関する業務につき、計画通り実施した。 ・ 昨年度末に実施された樹木伐採等の場内整備により、施設全体が明るく利用しやすくなったとの声が多かった。 ・ トイレの使用方法の改善（専用サンダルの利用）をはかり、利用者からの苦情が減少した。今後も清潔感の維持に努める。 ・ 団体利用の増により利用者数が増加している。今後も自主事業の企画等により、さらなる利用者の増加を図る。
<p>施設所管課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理業務を概ね着実に推進している。 ・ 収支状況については、概ね順調であった。 ・ トイレについては、施設の設置場所上「汲取り式」という制限があり、かねてより利用者アンケートで臭い等に対する苦情が寄せられていたが、土足を禁止し、専用サンダル設置して、清潔感の維持をはかるなどの工夫を行い、改善をはかっている。 ・ 今期利用者数は前年同期比の2割強の増加となっている。冬季閑散期においても、引続き魅力あるプログラムの実施等により、利用者の増加をはかってゆく必要がある。